



**1 真行寺** (浄土真宗本願寺派)  
能「竹の雪」の舞台。  
経蔵の基壇がすべて見事な笏谷石で葺かれ、墓地には江戸時代の回船業者の大きな墓石があります(墓地拝観可)。



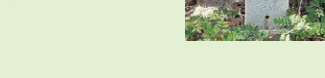
**4 観音寺** (曹洞宗)  
源義経奥州落ち伝説の舞台。  
墓地への敷石が笏谷石。墓地にも大きな笏谷石の墓石があります(墓地拝観可)。



**5 智国分寺** (天台宗)  
本堂は平成9年再建で堂内に5体の如来(五智如来像)が安置されている。三重塔は上越地方では唯一の塔。未完成ながら県指定文化財。笏谷石の土台石の経蔵は、元禄6年(1693年)の建立で市内最古の建物です。境内を出た東側に親鸞聖人ゆかりの養翁清水があります。笏谷石の縁石は明治時代のもので、水を汲むごとに乗せた足の跡がすり減っています。



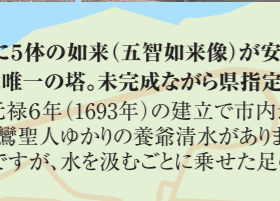
**7 居多神社**  
大国主命と奴奈川姫命と二人の子、建御名方命(諏訪神)・事代主命を祀る越後一宮。  
北参道の鳥居は笏谷石で作られていましたが笠石が破損し、近くに大正天皇の即位記念碑として転用されています。



**8 八坂神社**  
八坂・諏訪・日吉の3神を祀る直江津の産土社。上越最大の祭、祇園祭が行われる。江戸時代に造営された社殿の基壇・土台の笏谷石や100mを超える御影石の参道は直江津の繁栄ぶりを偲ばせます。また本殿裏手の神明宮は海運関係者の寄進。拝殿の船絵馬の拝観は社務所に一声かけて。



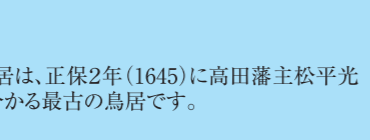
**3 府中八幡宮**  
上杉謙信や歴代藩主も崇敬した越後の総社。現在は解体され拝殿の下に保管されている鳥居は、正保2年(1645)に高田藩主松平光長の家老小栗茂吉が奉納したもので、年号が分かる最古の鳥居です。



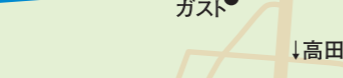
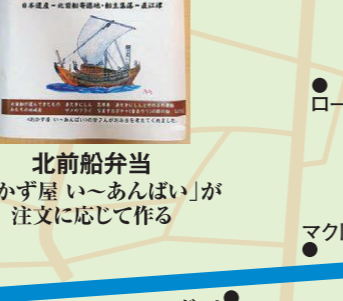
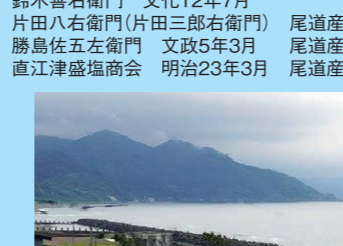
**6 五智国分寺**  
本堂は平成9年再建で堂内に5体の如来(五智如来像)が安置されている。三重塔は上越地方では唯一の塔。未完成ながら県指定文化財。笏谷石の土台石の経蔵は、元禄6年(1693年)の建立で市内最古の建物です。境内を出た東側に親鸞聖人ゆかりの養翁清水があります。笏谷石の縁石は明治時代のもので、水を汲むごとに乗せた足の跡がすり減っています。



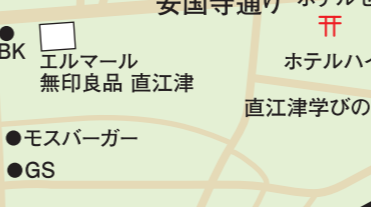
**3 泉蔵院** (真言宗豊山派(長谷派))  
中世の曼荼羅寺を継ぐ直江津最古の寺。山門前の笏谷石の六地藏は見もの。本堂の土台石も笏谷石。寺院には珍しい船絵馬(非公開)が奉納されています。



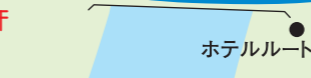
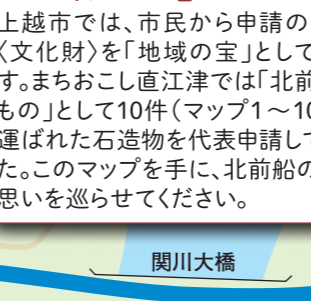
**11 夷稻荷神社から 風待ち港の郷津湾を望む 夕日スポット**  
献灯 鈴木善右衛門 文化12年7月  
片田八右衛門(片田三郎右衛門) 尾道産  
勝島佐五左衛門 文政5年3月 尾道産  
直江津盛塩商会 明治23年3月 尾道産



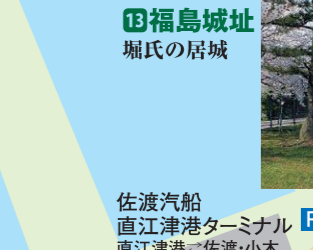
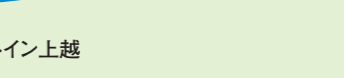
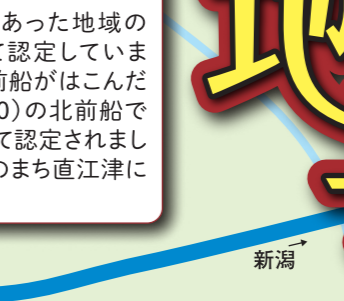
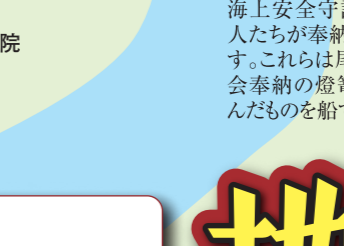
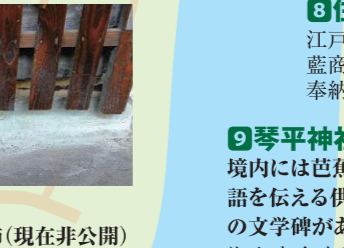
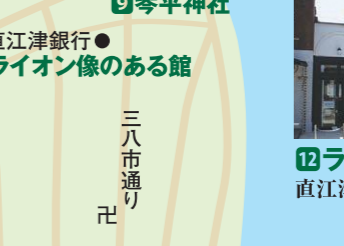
**10 夷稻荷神社**  
吉野秀雄歌碑  
直江津の海産物商人の恩人 福永神社



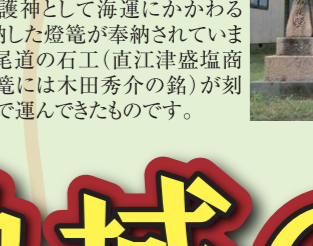
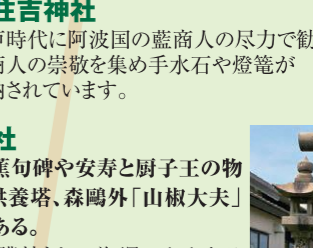
**9 泉蔵院** (真言宗豊山派(長谷派))  
中世の曼荼羅寺を継ぐ直江津最古の寺。山門前の笏谷石の六地藏は見もの。本堂の土台石も笏谷石。寺院には珍しい船絵馬(非公開)が奉納されています。



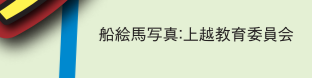
**8 住吉神社**  
江戸時代に阿波国の藍商人の尽力で勧請され、藍商人の崇敬を集め手水石や燈籠が奉納されています。



**9 琴平神社**  
境内には芭蕉句碑や安寿と厨子王の物語を伝える供養塔、森鷗外「山椒大夫」の文学碑がある。海上安全守護神として海運にかかわる人たちが奉納した燈籠が奉納されています。これらは尾道の石工(直江津盛塩商会奉納の燈籠には木田秀介の銘)が刻んだものを船で運んできたものです。



**13 福島城址**  
堀氏の居城



**「地域の宝」とは**  
上越市では、市民から申請のあった地域の(文化財)を「地域の宝」として認定しています。まちおこし直江津では「北前船がはこんだもの」として10件(マップ1~10)の北前船で運ばれた石造物を代表申請して認定されました。このマップを手に、北前船のまち直江津に思いを巡らせてください。

# 地域の宝 マップ

船絵馬写真:上越教育委員会